

路地百選推薦書

推薦者氏名：小柳 健

推薦する路地（のまち）の名称	輪島市黒島地区伝統的建造物群保存地区
所在地	石川県輪島市門前町黒島町地内

【推薦する理由（路地のよいところ）】

黒島集落は、能登半島の外浦の海岸部に位置し、海岸線に平行する外浦街道に沿って歴史的な町並みが現在も色濃く残っています。地区の背骨にあたる街道沿いを中心に町並みを成していますが、あばら骨にあたる路地・小路も歴史的な雰囲気の色濃く残し、地区の魅力の重要な構成要素となっています。

地区内を迷路のように縫う路地・小路を歩けば、黒島の新しい魅力が発見できます。

【写真添付】



路地	面積	約 20.5 ha（伝建地区）	路地の延長	約	m
路地のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	輪島市黒島地区伝統的建造物群保存地区は、日本海航路による海運業の発展の中で北前船の船主および船員（船頭や水主）の居住地として栄え、江戸後期から明治中期にかけて全盛を極めた集落です。明治以降、北前船が衰退し、一時、経済活動が停滞しましたが、昭和30年代以降の高度経済成長期に入ると、多くの住民が船舶技術を身につけ、石油タンカー、捕鯨船などの各種船舶の船員として働くようになります。町の資料では、昭和45年ころ、黒島では58%が船員を家業としており、船員という職業が地場産業化していました。この経済情勢を背景に良好な町並みと伝統的建造物群が維持されてきました。 平成19年3月に発生した能登半島地震により大きな被害を受けつつも、独特の平面形式や外観を見せる町家等が伝統的建造物群を構成し、周辺の自然環境を一体となって歴史的風致を今日によく伝えていることが評価され、平成21年6月30日付けで、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。 参考：黒島地区まちづくり協議会HP→http://www.phisnet.ne.jp/kuroshima/			

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。